

大阪府医師政治連盟ニュース

発行所
大阪府医師政治連盟
大阪市天王寺区上本町
2-1-22
大阪府医師会館内
電話(06)6763-7004

令和5年度事業計画・予算など承認

大阪府医師政治連盟 定例委員会を開催



挙手多数ですべての議案が承認された



高井委員長

大阪府医師政治連盟(府医政連)は4月28日午後、大阪府医師会館で第110回定例委員会を開催した。統一地方選挙の結果が報告されたほか、令和5年度事業計画および予算などが承認された。

国政中心に与党を支援

医療に理解ある議員と懇談重ねる



岡原議長

岡原猛委員長(堺支部)が議長を務め、はじめに高井康之委員長があいさつ。今回の統一地方選挙における各支部長、支部の連盟員の協力・支援に謝意を表した。

大阪府のダブル選挙では大阪維新の会が大府知事・大阪市長選を制す一方で、自由民主党は、自民党にとって敵対する結果となった。高井委員長は「大阪は維新政治が継続する」と言及。選挙の焦点の一つであったIR招致に触れ、府民・市民の健康を守ることが医師会としての責務だと強調した。その上で「ギャンブル依存症対策等の視点が抜け落ちていないか引き続き注視する」とした。

維新政治は、近畿地区でも勢力を拡大しながら、「身を切る改革」を訴える。それでも、府医政連として、医療に必要な財源は適切に配分するよう求め、いくと力を込めた。

維新政治は、近畿地区でも勢力を拡大しながら、「身を切る改革」を訴える。それでも、府医政連として、医療に必要な財源は適切に配分するよう求め、いくと力を込めた。

維新政治は、近畿地区でも勢力を拡大しながら、「身を切る改革」を訴える。それでも、府医政連として、医療に必要な財源は適切に配分するよう求め、いくと力を込めた。

維新政治は、近畿地区でも勢力を拡大しながら、「身を切る改革」を訴える。それでも、府医政連として、医療に必要な財源は適切に配分するよう求め、いくと力を込めた。

公明党大阪府本部の政策要望懇談会 感染対策に継続して公的支援を



大阪府医師政治連盟および公明党大阪府本部は7月10日午後、大阪市内で「政策要望懇談会」を実施。高井康之委員長、中尾正俊・加納康至・阪本米各副委員長、栗山隆信執行委員長、栗山隆信執行委員が同党議員と意見を交わした。

懇談会では、府医政連からの要請事項を阪本副委員長が説明。新型コロナウイルス感染症と促した。

懇談会では、府医政連からの要請事項を阪本副委員長が説明。新型コロナウイルス感染症と促した。

懇談会では、府医政連からの要請事項を阪本副委員長が説明。新型コロナウイルス感染症と促した。



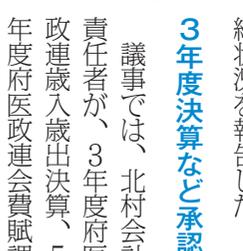
高井委員長

自民党再起に期待

大阪府の政治情勢

選挙結果を報告

栗山隆信執行委員が、4月9日に行われた大阪府知事ならびに大阪市長選挙の結果を報告した。知事は歴代



栗山執行委員

維新の会が55議席(定数79)を獲得。大阪市議員選挙でも46議席(定数81)になったと述べた。なお、府医政連推薦候補者は63人中43人が当選した。

引き続き、令和4年度府医政連事業として、5年度の組織率▽第26回参議院議員通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策

引き続き、令和4年度府医政連事業として、5年度の組織率▽第26回参議院議員通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策

引き続き、令和4年度府医政連事業として、5年度の組織率▽第26回参議院議員通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策▽府医政連通常選挙対策



北村会計責任者

「自民党大阪府医療支部」 党員数拡張にご協力を

令和6年度には診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬のトリプル改定が予定されています。診療報酬の改定率を含めた社会保障関連予算は、5年末の予算編成過程において決定されることになります。税制についても政治で決着されている現実を踏まえ、政治の場で与党の支持を得ることが大切です。我々が望む医療政策を実現するためには「政治力」が重要で、その一環として「自民党員獲得」に力を入れています。

自民党が団体を評価する指標である、医療支部の職域党員を一人でも多く獲得したいと考えており、先生方にはご協力をお願い申し上げます。詳しい入党方法等については、ご所属の郡市区支部へお問い合わせください。

3年度決算など承認

議事では、北村会計責任者が、3年度府医政連歳入歳出決算、5年度府医政連歳入歳出決算、5年度府医政連歳入歳出決算、5年度府医政連歳入歳出決算

かかりつけ医機能報告制度の方向性 国民に寄り添った設計に向け尽力



参議院議員

自見 はなこ

高井康之委員長をはじめ大阪府医師政治連盟の先生方におかれましては、平素より格別なご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

本年5月に新型コロナウイルス感染症が感染拡大した際、かかりつけ医機能が發揮され、子ども達や学生も行動制限がない夏休みを謳歌するなど、よあると強く感じます。これもおととえに、3年熱外来、健康観察、重



子ども家庭庁発足 岸田首相とともに

適用される2024年を控え、「医師の働き方改革」への対応も急務です。とりわけ、地域医療の中核である大学病院への支援や、へき地・離島でのオンライン診療の活用などを力強く進めて行くことが求められます。こうした諸課題は、社会保険費の削減ありきでは到底解決できません。医療現場の代表として国会に送っていただいた責任を胸に、これからも精進してまいります。

医療現場の声、国政に

厚生労働副大臣

参議院議員

羽生田 俊

平素より私の政治活動に対し、ご理解とご支援をいただき、心より御礼申し上げます。



はじめ大阪府医師政治連盟の皆様方には、平素より格別なご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。私達医療者はこの3年余り新型コロナウイルス感染症との戦いに翻弄されてまいりました。しかしながら、5類になり喉元を過ぎたのか財務省は、コロナで補助金を出しすぎたと云わんばかりに、医療費削減・抑制に大きく舵を切ってきました。先般の骨太の方針では、茂松茂人・日本医師会副会長も大きく活躍され、日医と関係各位の押し返しにより何とか許容範囲内の表現になりましたが、来年は診療報酬の中に含まれる診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等の底上げがないと医療



社会保障のあり方や医療の重要性を巡り、茂松・日医副会長（右）と松野博一・内閣官房長官（中央）と意見交換

令和5年度日本医師連盟「医政活動研究会」が5月28日午後、東京都内で開催された。同研究会は若手医師が政治活動・選挙活動の重要性を学ぶことに加え、各都道府県および都市区医師連盟への情報共有・伝達を目的に設置されている。大阪府医師政治連盟からは、加納康至副委員長、栗山隆信執行委員長が参加した。

最後に茂松茂人・日医連副委員長があいさつ。国民主体の医療を実現するには政治の力は欠かせないとして、一層の支援を求めた。

日医連「医政活動研究会」4年ぶりに開催 各都道府県医師連盟の状況などを報告



田村憲久衆議院議員からは、「社会保障を知る・考える」と題して、社会保障が抱える様々な課題や具体的な解決策が述べられた。都道府県医師連盟より活動報告